

生成AIを活用した異常検知と判断の標準化、高精度化への活用

<https://www.rdsc.co.jp/seminar/2508116>

◆日 時：2025年08月28日（木） 13:00～16:00

【アーカイブ配信：8/29～9/5】

◆会 場：WEBセミナー（オンライン開催）

◆聴講料：1名につき49,500円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき**46,200円（税込）**・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料（2名で49,500円（税込））**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：(株)LINK.A 代表 / (株)ネクステージ 開発部 AIアナリスト 太田 桂吾 氏

ChatGPTの登場により、生成AIをいかに活用していくのか、多くの企業の課題となっています。生成AIの素早く、大量のデータを、一定のルール（プロンプト）に従い生成可能であるという特徴をいかすことができる分野は多くあります。そんな中で、生成AIの基本である機械学習の学習データに使用できないか、ということ、多くの人が考えています。しかし、実際に生成AIを使用して学習データを生成しようとすると、なかなかその手順、何が使用できるか等、超えるべき課題は多いです。そのため、現実のデータ以外の生成方法をまとめ、その中で生成AIを活用していく手法をまとめました。まだまだ発展する分野ではありますので、課題含め学習していきましょう。

【プログラム】

1. 機械学習の基本

- 1-1 何を学習しているのか
- 1-2 学習データの役割

2. ディープラーニングの基本

- 2-1 何がディープなのか
- 2-2 学習データの量
- 2-3 転移学習

3. 学習データの生成

3-1 一般的な学習データの取得

- (1) 画像データでの例
- (2) 自然言語での例

3-2 データオーギュメンテーション

- (1) 画像データでの例
- (2) 自然言語での例

3-3 シミュレーターを使用した学習データの生成

- (1) 画像データ(2D,3D)での例
- (2) 自然言語での例

3-4 生成AIの活用

- (1) 画像データをもとに別画像の生成
- (2) 3Dモデルの生成
- (3) 学習データの生成

3-5 異常検知への活用

- (1) 異常検知の種類
- (2) 異常検知のための学習データの生成

4. 課題と今後の展望

- 4-1 現時点での課題
- 4-2 今後の展望

「異常検知」セミナー申込書

■LIVE

■アーカイブ

※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい

会社名			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属・役職	E-mail	
①			
②			

会員登録（無料）

☐Eメール☐郵送

※ご希望の案内方法を選択してください。複数選択可。

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項を記入のうえ、FAXにてお申し込みください。弊社で内容を確認後、受領のご連絡を差し上げます。受講用URLは後日お送りいたします。

なお、お申し込み後のキャンセルは原則として承っておりません。ご都合により出席できない場合は、代理の方にご出席いただくようお願いいたします。代理の方も見つからない場合は、（土日祝日を除く）8日前までにご連絡いただければキャンセルを承ります。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>**R & D**
SUPPORT CENTER

株式会社R & D支援センター

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル7階

TEL) 03-5857-4811 FAX) 03-5857-4812 URL) <https://www.rdsc.co.jp/>